

14.6
178

14.6-178



1200501225054

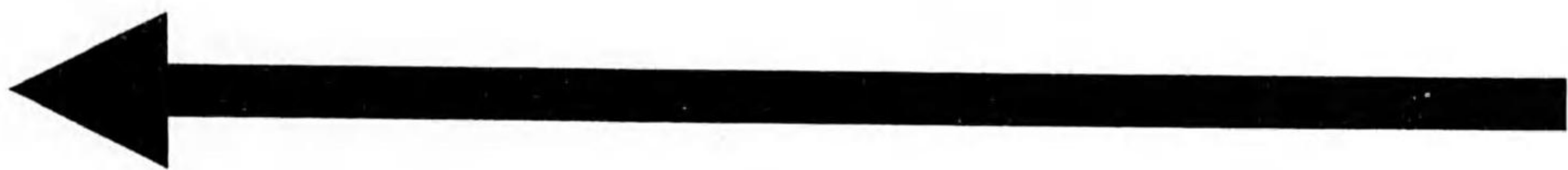
2



財団法人 泉橋慈善病院報告 第三十面

(昭和十二年一月一日
至三月三十一日)

始

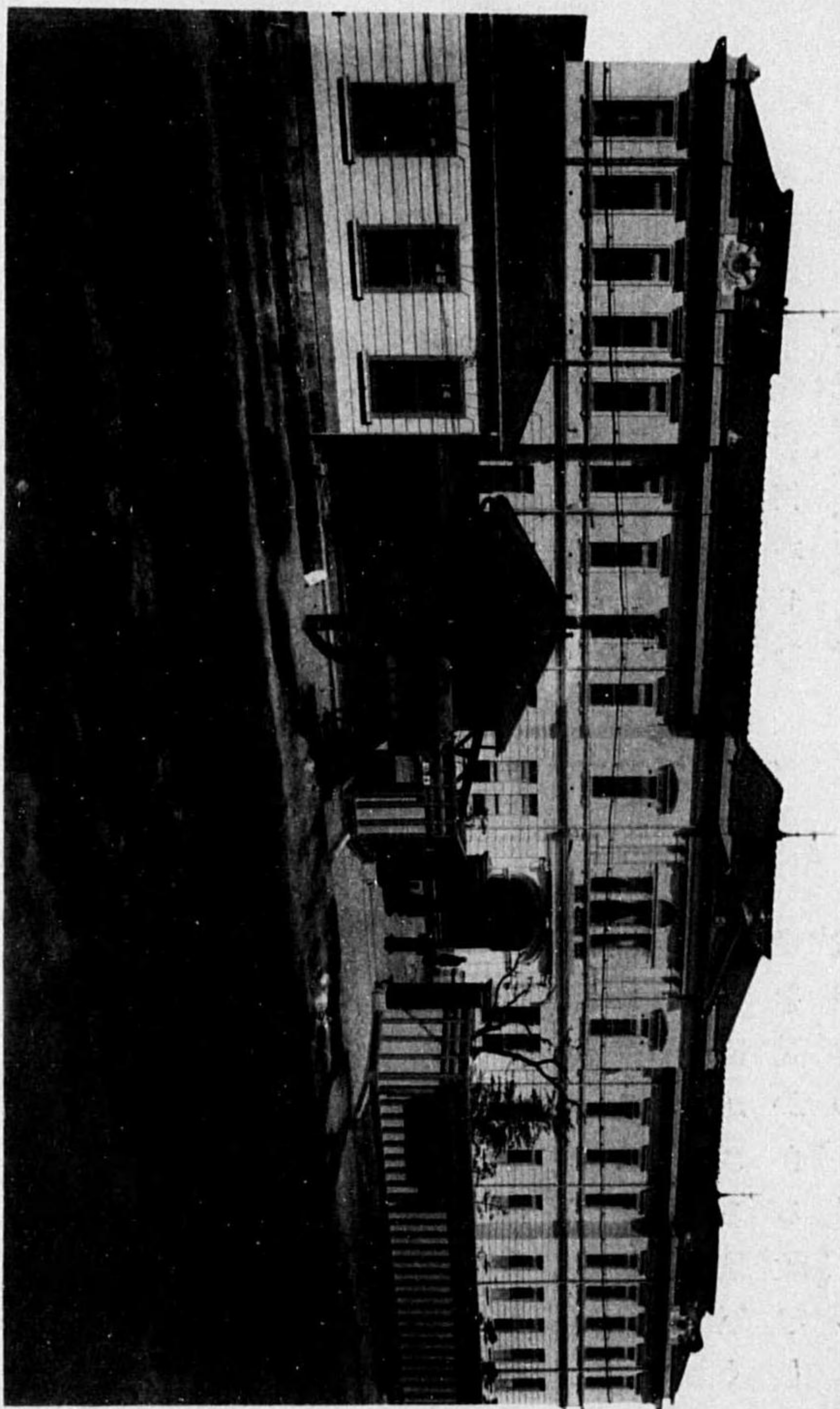


146

178

法財
人團
泉橋慈善病院第參拾回報告

(自昭和十二年十一月卅一日
至昭和十二年十二月卅一日)



財團 泉橋慈善病院全景

泉橋慈善病院々歌

沼波武夫作

(合唱) 一、仁を説かざる聖無く
愛を説かざる教無し
我が身のあるは人々に
我が真心を盡す爲

(甲部唱) 二、物に乏しき際にして
病める人こそあはれなれ
薬を得べきすも無く
窓洩る風を佗びて臥す

(乙部唱) 三、斯る同胞救はずて
進む醫術を何かせむ
弱きを助けいたはらで
豈に文明を稱へ得む

(甲部唱) 四、三井の水の潔く
澤の黄金を抛ちて
救ひの場を開きける
その真心の尊さよ

(乙部唱) 五、此院に努めて人の道
遂ぐる我等の光榮や
慈善の箒絶えざらば
世に悲みの暗あらし

(合唱) 六、仁を説かざる聖無く
愛を説かざる教無し
我が身の在るは人々に
我が真心を盡す爲

148
178

寄附行爲

(明治三十九年拾月参日内務大臣認可)
第貳條、第參條、第貳拾貳條變更
明治四拾貳年参月九日内務大臣認可
第肆條、第伍條、第陸條、第拾條變更
明治四拾四年貳月貳拾参日内務大臣認可
第肆條、第伍條、第陸條、第拾條變更
明治四拾五年五月貳拾八日内務大臣認可
第貳條、第拾條變更
大正六年四月貳拾日内務大臣認可
第貳條、第肆條、第伍條、第陸條、第拾條
第拾伍條、第拾陸條、第拾柒條、第拾玖條
第廿壹條、第廿貳條、第廿六條變更
大正八年四月拾壹日内務大臣認可
第肆條、第伍條、第陸條、第拾條變更
大正拾五年貳月拾三日内務大臣認可

第一條 本法人ハ、目的
第二條 本法人ハ、名稱ハ財團法人泉橋慈善病院トス
第三條 本法人ノ事務所ハ東京市神田區和泉町壹番地ニ之ヲ置ク
第四條 本法人ノ資産ハ設立ノ際ニ於ケル三井家總代男爵三井八郎右衛門ヨリノ寄附金壹百萬圓第貳回ノ寄附金貳拾萬圓第三回

同病院 寄贈本

ノ寄附金五萬圓第四回ノ寄附金百七拾五萬圓第五回ノ寄附金壹百萬圓合計金四百萬圓トス
第五條 本法人資産四百萬圓ノ内ヲ以テ土地建物器具等設備費ヲ支拂ヒ殘額ヲ維持基本金トス
第六條 第四條ノ設立ノ際ニ於ケル寄附金ハ法人設立許可ノ日ニ於テ又第貳回第參回第四回及第五回ノ寄附金ハ寄附行爲ノ變更認可ノ日ニ於テ本法人ニ歸屬ス
第七條 本法人ノ維持經費及ヒ治療費用等ハ維持基本金ノ利子及ヒ其他ノ雜收入ヲ以テ支辨ス
第八條 維持基本金ハ使用スルコトヲ得ス若シ使用ノ已ムヲ得サル必要生シタル場合ニハ豫メ評議員會ノ議決ヲ經ルモノトス
第九條 本法人ノ目的ヲ贊助シテ金品ノ寄贈アルトキハ受領スルコトヲ得但シ寄附金ニシテ特ニ其用途ヲ指定セラレタルモノノ外ハ維持基本金ニ組入ルルモノトス
第十條 維持基本金ハ之ヲ確實ナル銀行ニ預入レ保管セシムルモノトス但シ評議員會ノ議決ヲ以テ國府縣市債ノ證券又ハ確實ナル銀行會社ノ株券又ハ社債ヲ買入レ銀行ヲシテ保管セシムルコトヲ得
第十一條 土地建物器具等ノ設備費其他ノ資金ハ其指定費目ニ支出スルマテハ前條ノ方法ニ依リ保管スルモノトス

五、解 散



第十二條 本法人ハ法定ノ解散事由ノ發生スルニ非レハ解散スルコトナシ

第十三條 本法人解散スルニ至リタルトキハ理事ハ豫メ評議員會ノ議決ヲ經テ其資産ヲ本法人ノ目的ト同一若クハ類似ノ目的ヲ有スル他ノ病院其他ノ慈善團體ニ寄附シテ第四條資産寄附者ノ目的ヲ永遠ニ繼續セシムルコトヲ圖ルヘシ

六、醫 務

第十四條 本病院病者ノ治療及之ニ關聯スル醫務ハ之ヲ東京帝國大學醫學部長ニ一切委託ス

七、評 議 員

第十五條 本法人ニ二十名以内ノ評議員ヲ置ク其任期ハ五ヶ年トス但シ滿期重任スルコトヲ妨ケス

第十六條 評議員ハ左ノ資格者ヨリ選任スルモノトシ第一次ニ於テハ設立委員長之ヲ選任シ爾後ハ三井家總代若シクハ總代ノ指名シタル者ニ於テ之ヲ選任ス

一 設立委員

二 東京帝國大學醫學部ニ屬スル教授

三 第四條資産寄附者

四 三井家同族三井家重役若クハ重役タリシモノ

五 社會ニ聲名閑歴アルモノ

第十七條 評議員ノ互選ヲ以テ評議員會長壹名副會長參名以内ヲ

定ム

評議員會長ハ評議員會ヲ召集シ其議長トナル會長事故アルトキハ副會長ノ壹名共互選ニヨリ會長ノ職務ヲ代理ス

第十八條 評議員ニ缺員ヲ生シタル時ハ第十六條ノ資格者ヨリ評議員會ノ議決ニ依リ評議員會長之ヲ選任ス

前項ニ依ル補缺者ノ任期ハ本任者ノ任期ト共ニ終了ス

第十九條 評議員三名以上若クハ理事又ハ監事ノ請求アルトキハ臨時評議員會ヲ召集スルモノトス但シ第一次ノ評議員會ハ設立委員長之ヲ召集ス

第二十條 評議員會ハ全員ノ過半数出席スルニ非サレハ議事ヲ開クコトヲ得ス議事ハ出席員ノ過半数ニ依リ之ヲ決ス

第二十一條 評議員會長及副會長ノ任期ハ五ヶ年トス

八、理事及監事

第二十二條 本法人ヲ代表シ其事務ヲ處理セシムル爲メ理事七名以内ヲ置ク

第二十三條 理事ハ評議員會ノ議決ニ依リ評議員會長之ヲ選任ス

第二十四條 理事ハ左ノ事項ニ就テハ評議員會ノ議決ヲ經テ之ヲ處理スヘシ

一 資産ノ管理運用及ヒ處分ニ關スル事項

二 豫算及ヒ決算

三 豫算外ノ支出

四 債權債務ノ設定ニ關スル事項

五 土地建物ノ購入賣却若クハ新營大修繕等ニ關スル事項

六 其他重要事項

第二十五條 理事ハ每半季其執務シタル業務及ヒ資産ノ現況ヲ監事及評議員會ニ報告スヘシ

第二十六條 本法人ノ資産及ヒ業務ノ狀況ヲ監査セシムル爲メ監事三名以内ヲ置ク

第二十七條 監事ハ評議員會ノ議決ニ依リ評議員會長之ヲ選任ス

第二十八條 監事ハ資産ノ狀況若クハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル時ハ之ヲ評議員會及主務官廳ニ報告スヘシ

第二十九條 理事及ヒ監事ハ評議員會ニ出席シテ發言スルコトヲ得但シ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第三十條 理事ノ任期ハ五ヶ年トシ監事ノ任期ハ三ヶ年トス但シ滿期重任スルコトヲ妨ケス

理事及ヒ監事ノ補缺者ノ任期ハ本任者ノ任期ト共ニ終了ス

九、寄附行爲ノ變更

第三十一條 本寄附行爲ニ定メタル事項ニシテ第一條第五條及ヒ第八條ノ趣旨ニ反セサル範圍内ニ於テ評議員會ノ議決ニ依リ必要ト認メタルトキハ主務官廳ノ認可ヲ經テ之ヲ變更スルコトヲ得

第三十二條 前條ノ評議員會ハ全員ノ四分ノ三以上出席シ其四分ノ三以上ノ同意ニ依リテ議決ス (前文後文共ニ略ス)

財團 泉橋慈善病院沿革略

明治三十九年三井家ニ於テ時勢ニ鑑ミ貧困ニシテ醫藥ヲ得ルノ資ナキ病者ノ爲メ施療ヲ爲スノ目的ヲ以テ市内ニ施療機關ヲ設クルノ急務ナルヲ認メ金壹百萬圓ヲ寄附シテ財團法人組織ノ慈善病院ヲ設立スル事ニ決シ同家總代男爵三井八郎右衛門氏ハ益田孝、土肥慶藏、岡田和一郎、入澤達吉、朝吹英二、五氏ニ設立委員ヲ囑託シ同年十月三日財團法人三井慈善病院設立ノ認可ヲ得、地ヲ元大學第二醫院跡即チ現在ノ地、東京市神田區和泉町一番地ニトシ直ニ建築ニ着手シ同四十一年十二月工事竣成同四十二年三月廿一日開院式ヲ舉ゲ翌廿二日ヨリ一般患者ノ診療ヲ開始シタリ其後二回ニ三井家ヨリ金貳拾五萬圓、後大正八年四月金百七拾五萬圓ノ寄附アリ資本總額ヲ金參百萬圓トシ同時ニ名ヲ財團法人泉橋慈善病院ト改ム大正十四年十二月卅日三井家ヨリ更ニ金壹百萬圓ノ寄附アリテ資本總額ヲ金四百萬圓トナセリ

目次

同病院 寄附

第一	役員	一
第二	評議員會並役員ノ異動	二
第三	職員及傭人	二
第四	治療成績	一三
第五	會計	二一
第六	彙報	二八

附錄

第一	產婆看護婦養成所報告 (第廿二回)	一
第二	贊助婦人會報告 (第十八回)	一

財團 法人 泉橋慈善病院第參拾回(自昭和十二年十一月至昭和十三年十二月)報告

第一役員

現在役員左ノ如シ



◎評議員
會長 佐藤三吉 (昭和十一年十月十一日重任)
副會長 益田孝 (同上)
男爵 三井高公 (昭和八年十月廿五日選任)
岡田和一郎 (昭和十一年十月十一日重任)
入澤達吉 (同上)
田代義徳 (昭和九年四月十一日重任)
林春雄 (昭和十年四月廿四日重任)
鹽田廣重 (同上)

男爵 三井高精 (同上)
長興又郎 (昭和八年十月二十五日選任)
木村徳衛 (昭和六年二月十一日選任)
三井高修 (同上)
有賀長文 (同上)
永井潜 (昭和十年四月廿四日選任)
三井高長 (昭和十一年九月五日選任)
三井高遂 (昭和十二年三月三日選任)
栗山重信 (昭和十二年七月三日選任)

◎理事

田代義徳 (昭和九年四月十七日重任)
林春雄 (昭和八年六月二日選任)
南條金雄 (昭和十年六月二十二日選任)
島田勝之助 (昭和十一年五月九日選任)
金子堅次郎 (同上)
佐々木四郎 (同上)
栗山重信 (昭和十二年七月三日選任)
永島雄治 (昭和十二年四月七日選任)

◎監事

永島雄治 (昭和十二年四月七日選任)

第二 評議員會並役員ノ異動

(一) 評議員會

◎二月廿三日 昭和十一年十二月末日貸借對照表及收支計算ノ件及同財産目錄承認ノ件、評議員選任報告ノ件承認

◎四月十六日 監事選任ノ件可決

◎七月十三日 評議員會長互選ノ件並基本金運用ノ件(運用基本金ノ三割程度ヲ株式ニ投資シ得ルコト)可決

◎七月廿三日 評議員選任報告ノ件承認並理事選任決議書可決

(二) 役員ノ異動

◎二月廿三日 寄附行爲第十五、十六條ノ規定ニ基キ三井家總代男爵三井高公氏ハ三井高遂氏ヲ評議員ニ選任ス

◎四月十六日 監事永島雄治氏本日ヲ以テ任期滿了ノ處寄附行爲第廿七條ノ規定ニ基キ評議員會ノ決議ニヨリ再選重任セラル



◎四月廿七日 評議員、理事島蘭順次郎氏病氣加療中ノ處本日薨去セラル

◎七月十九日 評議員會長佐藤三吉氏本日ヲ以テ任期滿了ノ處寄附行爲第十七條ノ規定ニ基キ評議員ノ互選ノ結果再選重任セラル

◎七月廿三日 寄附行爲第十五、十六條ノ規定ニ基キ三井家總代男爵三井高公氏ハ栗山重信氏ヲ評議員ニ選任ス

尙同日寄附行爲第廿二、廿三條ノ規定ニ基キ評議員會ノ決議ニヨリ栗山重信氏ヲ理事ニ選任ス

第三 職員及傭人

(一) 現在職員及傭人 (昭和十二年十二月末)

職名	名	嘱託又ハ就職年月日	身	分	姓	名
院長	長	昭和十二年七月十五日(嘱託)	東京帝國大學教授	醫學博士	栗山重信	栗山重信
外科部長	長	大正十五年一月一日(同)	同	助教	同	原勇三
皮膚科泌尿器科部長	長	昭和六年五月廿六日(同)	東京帝國大學醫學部講師	同	同	市川篤二
放射線科部長	長	同 八年七月七日(同)	同	右	同	相川武雄

辭		職	
月 日	勤務科名	月 日	勤務科名
七月十五日	院長囑託	十月一日	部長囑託
九月一日	科	同 右	科
九月十六日	科	十二月十日	科
九月廿七日	科		
同 右	兒科	同 右	婦科
同 右	同	同 右	同
一月卅一日	外科	七月十五日	外科
二月五日	病理科	八月卅一日	耳科
二月廿八日	兒科	九月十日	皮膚科
同 右	皮膚科	九月卅日	病理科
三月卅一日	眼科	同 右	病理科
四月十日	皮膚科	十月十日	外科
四月十二日	眼科	十二月十五日	耳科
五月卅一日	耳科	十二月卅一日	內科
同 右	同	同 右	外科
同 右	同	同 右	同
同 右	同	同 右	同

姓 名	姓 名
東京帝國大學教授 醫學博士 栗山重信	東京帝國大學教授 醫學博士 緒方知三郎
日大醫學士小貫信郷	醫學士 所安夫
醫學博士武澤滋	帝國女子醫學士 黒部文子
大阪醫學士本庄貞雄	
醫學士武内博夫	
醫學博士薄田七郎	
醫學博士北村義男	
醫學士原田彰	
大阪醫學士本庄貞雄	
醫學士原田儀一郎	
帝國女子醫學士上垣ノア	
醫學士筑紫榮一	
醫學博士堀治部	
醫學士小林一郎	
醫學士河野隆	
醫學士大原豊澄	
日本醫學士大久保譽一	
醫學博士鈴木木送	
醫學士小野森	
東京醫學士牧野道義	
同 間中喜雄	

第四 診療成績

(一) 診療事務

- ◎一月四日 例年ノ通り一月一日ヨリ同七日ニ亘ル間ニ於テハ本日特ニ各科トモ外來患者ノ診療ヲ行ヒ八日ヨリ平常ニ復ス
- ◎四月一日 本日ヨリ執務時限左ノ通り變更ス
午前八時ヨリ午後四時マデ
- ◎四月廿七日 靖國神社臨時大祭ニ付本日臨時休業
- ◎五月一日 本日ヨリ外來患者受付時間ヲ左ノ通り變更ス
新來患者受付時間 午前六時ヨリ同七時マデ
再來患者受付時間 午前八時マデ
- ◎五月廿二日 本日午後一時ヨリ内科外來診察室ニ於テ職員以下全員ニ對シ腸チフス豫防注射ヲ行フ
- ◎七月十一日 本日ヨリ九月十一マデ(夏季)各科病床ヲ約半數トス
尙同日ヨリ眼科新來患者受付ヲ月水金ニ變更ス

- ◎九月一日 本日ヨリ各科新來患者受付ヲ月水金ニ變更ス
- ◎九月十二日 夏季中半減シタル各科病床ハ本日ヨリ平常ニ復ス
- ◎十月一日 本日ヨリ諸時限左ノ通り變更ス

- 一、執務時間 午前九時ヨリ午後四時マデ
- 一、新來患者受付時間 午前七時ヨリ同八時マデ
- 一、再來患者受付時間 午前九時マデ

◎十二月十六日 南京陷落祝賀ノ爲メ本日臨時休業

◎十二月十八日 本日ヨリ向フ十日間東京府社會事業協會主催歲末無料診療實施ニ付本院ニ於テモ之ガ救療機關トシテ入院患者引受團體ニ加入ス

◎十二月廿五日 本日ヨリ十二月三十一日ニ亘ル間ハ二十七、三十日ヲ診療日トシ各科共新來及再來患者ヲ診療ス

(二) 患者數

◎本年中ニ於ケル外來患者數及入院患者數左ノ如シ
1、外來患者數

區別	新來		再來		計		施療日數	
	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年
男	三、三三七	三、三三九	六、八九七	六、八七九	九、三三四	一〇、二一三	一四八、九五	一五、九五
女	元、五五六	三、〇八四	天、三三三	六、四七九	七、七六六	九、三三三	一三三、六五	一四〇、三六
小兒	三、六三三	三、六三三	四、一〇九	五、九四六	七、七八三	九、六〇三	一三三、九四	一三三、八七
合計	七、五二一	六、九八七	一三、〇四九	一四、二〇四	一九、一六六	二二、一五〇	三一一、七〇	三三〇、七六

(イ) 男女別

(ロ) 各科別

區別	新來		再來		合計	
	本年	前年	本年	前年	本年	前年
內科	一、七六二	一、八七二	八、一九四	八、七〇七	一〇、六五六	一〇、五七九
外科	九、八七	一〇、七三六	三、八〇〇	三、九三三	一三、六七	一四、五一二
眼	六、三三六	六、三三六	三、三三三	三、三三三	九、六六九	九、六六九
耳鼻咽喉科	八、三〇〇	八、三〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
皮膚科泌尿器科	八、三三五	七、四七八	一、八四三	一、九三九	一〇、一九八	一〇、四一七
小兒科	六、八六	六、六〇	八、三三〇	一〇、六三三	一五、〇七	一七、三三三
產婦人科	七、四四	七、六九	二、二二七	一〇、八四	九、二九	一八、二八

放射線科	マツサージ	合計
三〇五	四	三〇九
三、三六	六	三、四二
(七二)	(三)	(七五)
一、〇三	一、六	二、〇九
七九	一、七三	二、五二
三五	(三六)	(七一)
四二四	一、四九	五七三
四、一五	一、七	五、九二
(一〇)	(三三)	(四三)

備考 外來患者ノ治療日數及一日平均左ノ如シ

診療日數 新來 本年 二百四十九日
 前年 二百九十六日
 再來 本年 二百九十五日
 前年 二百九十六日

一日平均 新來 本年 二百七十二人
 前年 二百三十六人
 再來 本年 四百四十二人
 前年 四百七十九人
 合計 本年 七百十四人
 前年 七百十五人

治療日數 本年 三十二萬七千六十日
 前年 三十四萬七百三十三日

2、入院患者數

(イ) 男女別

區別	男女別		持越入院計	全治輕快死亡事故計	治療日數	現在
	男	女				
男	二四	二八	八五	二八	二、五二	〇
女	二七	二八	八六	二八	一、九〇	〇
小兒	一一	一〇	二一	二〇	一、三〇	〇
合計	五五	五六	一六六	五六	三、八二	〇

(ロ) 各科別

各科別	區別	持越入院計	全治輕快死亡事故計		治療日數	現在
			全治	輕快死亡事故		
內科	三	三六	八	三三	一〇、一九	一七
外科	五	八二	五	三三	一一、七五	三
眼科	〇	四	七	〇	一、八五	〇
耳鼻咽喉科	四	一九	二	一八	二、〇一	〇
皮膚科泌尿器科	一	一〇	七	四	二、三三	〇
小兒科	三	二九	四	六	一、九六	三

產婦人科	婦產科	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇	九二	四六	二一	一、〇〇〇	三八五
合計		五	二、八七三	二、九二五	四四	二、一四	一七三	七	二、八七三
									二、八七三
									二、八七三
									二、八七三
									二、八七三
									二、八七三
									二、八七三
									二、八七三
									二、八七三

備考 入院患者一日平均數九九人弱

入院患者一人平均在院日數一二日強

◎入院患者一人ニ對スル施療日數(在院日數)ヲ各科別ニ前年度ト比較スレバ左ノ如シ

科別	年次	昭和十一年	昭和十二年	比較
內科		三〇、四	三六、六	△三、八
外科		一五、二	一三、五	△一、七
眼科		四〇、三	三九、三	△一、〇
耳鼻咽喉科		二七、七	二〇、〇	△七、七
皮膚科泌尿器科		三三、九	三三、四	△〇、五
小兒科		三、一	一三、九	一、八
產婦人科		五、四	五、九	〇、五

◎本年中ニ於ケル助産成績左ノ如シ

產婦取扱數	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
在院日數	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二

備考 一ヶ月平均產婦取扱數 八三人強

一人平均在院日數 三日八強

(三) 入院及外來患者病類別

(内閣訓令第一號死因及疾病分類大分類ニ據ル)

病名	入院	外來	病名	入院	外來
傳染病及寄生蟲病	二八	九三〇	呼吸器ノ疾患	二四	八、二五
痛、其他ノ腫瘍	一四	一、三五	消化器ノ疾患	七二	一〇、九二
レウマチ性疾患、營養障害、内分泌腺ノ疾患其他ノ全身病	七	四、二五	泌尿生殖器ノ疾患	二八	六、九〇
血液及造血臟器ノ疾患	二〇	三、五	妊娠及産ニヨル疾患	一、〇	一、〇
アルコール中毒及其他の慢性中毒	七	一、六	皮膚及皮下結締組織ノ疾患	三	七、五
神経系及感覺器ノ疾患	二九	三、七	骨及運動器ノ疾患	七	二、六
血行器ノ疾患	一〇	一、五	先天性畸形	四	三、四

乳兒固有ノ疾患	四	不明ノ診断及不詳ノ原因	七
老衰	〇	合計	七、九四
外因	九		
	一、二九		

(四) 梅毒反應検査取扱數 (昭和十二年度)

科別	入院	外来	計
内科	三三	六四	九七
外科	四〇	三七	七七
眼科	〇	四三	四三
耳鼻喉科	〇	三六	三六
皮膚科	四	二、九四六	二、九五〇
兒科	一九	九七	一、一六六
産婦人科	一四	一六	三〇
放射線科	三六	一六	五二
計	五、〇	五、八六六	一〇、八六六
院外			一、二七

(五) 試験的切除組織検査表 (昭和十二年度)

科別	内科	外科	眼科	耳鼻喉科	皮膚科	兒科	産婦人科	放射線科	院外	計
員數	〇	一〇〇	一	一	一	一	一	一	一〇	四七

(六) 剖檢

昭和十二年度死體解剖男九十三人女六十四人合計百五十七人

第五會 計

- ◎二月十五日 日本電力第一回ノ號社債券額面壹千圓也償還ヲ受ケテリ證券トシテ第百七十六回興業債券額面壹千圓也ヲ買入ル
- ◎三月 廿日 東邦電力第二回子號社債券額面拾萬參千六百圓也償還ニ付代リ證券トシテ同社第二回寅號社債券額面拾萬四千七百圓也ヲ買入ル
- ◎四月 一日 三井合名會社ヨリ借入金ノ内金壹千貳百八拾貳圓參拾貳錢ヲ返済ス
鐘淵紡績第九回社債券額面壹千四百圓也ヲ買入ル
- ◎七月 五日 王子製紙第十三回社債券額面七萬參千圓也償還ヲ受ク
- ◎七月十三日 評議員會ニ於テ運用基本金ノ三割程度ヲ株式ニ投資シ得ルコトヲ決議セラル
- ◎七月十五日 日本電力第一回に號社債券額面四千圓也償還ヲ受ク
- ◎八月廿六日 左記證券ヲ買入ル

- 東京電燈株式 參百株
- 東邦電力株式 貳百株
- 東京瓦斯株式 參百株

◎九月一日 東邦電力株式壹百株ヲ買入ル

◎十月五日 左記證券ヲ買入ル

東京瓦斯株式 五拾株

東京電燈株式 五拾株

東京横濱電鐵株式 參百株

◎十月九日 三越第十二回社債券ノ内額面五千圓也償還ヲ受ク

◎十月十五日 左記證券ヲ買入ル

東京電燈株式 五拾株

東邦電力株式 四拾株

◎十一月十五日 日本電力第二回い號社債券額面壹萬七千八百圓也償還ヲ受ク

◎十一月十八日 左記證券ヲ買入ル

南滿洲鐵道株式 壹百株

東京電燈株式 壹百株

京成電氣軌道株式 壹百株

◎十二月一日 大阪築港第二回公債證書額面參萬貳千九百圓也償還ヲ受ク

◎十二月六日 左記證券ヲ買入ル

東邦電力株式 壹百六拾株

日本窒素肥料株式 壹百株

大同電力株式 參拾株

日本電力株式 參拾株

◎十二月廿四日 大日本人造肥料第十二回ろ號社債券額面壹萬圓也償還ヲ受ク

◎十二月廿八日 左記證券ヲ買入ル

日本電力株式 貳拾株

南滿洲鐵道株式 貳百株

昭和十三年度豫算

收入之部		支出之部	
經常收入		經常支出	
國債利子	45,019.00	俸給及手当當	68,692.00
地方債	1,845.00	雜員給料及當宿直居殘員辨當料	26,166.00
社債	122,053.00	看護婦費	37,095.00
株式配當金	9,013.00	外國雜誌及圖書費	2,327.00
有價證券運用信託收益金	1,372.00	備品費	14,900.00
小計	179,302.00	帳簿及文具費	2,675.00
臨時收入		電燈・瓦斯・石炭・木炭・水道消耗品費	31,100.00
血清檢査料	500.00	通信運搬費	1,930.00
不用品賣却代	130.00	藥品・治療用材料及雜用品費及雜費	43,040.00
雜收入	170.00	入院患者賄及滋養品費	10,220.00
小計	800.00	入院患者被服・寢具・補修費	3,750.00
合計	180,102.00	營繕及修繕費	1,000.00
三井合名會社ヨリ借入金繰越額	209,908.00	火災保險料	3,311.00
十二年度不足金十三年度繰越見込額	86,663.00	電燈・瓦斯・水道・蒸氣裝置費	900.00
十三年度豫算不足見込額	101,035.00	諸稅及公費	4,000.00
		諸雜費	1,700.00
		豫備費	1,100.00
		產婆看護婦養成所費	15,231.00
		小計	269,137.00
		臨時支出	
		退職慰勞金	10,000.00
		銀行借入金利息	2,000.00
		小計	12,000.00
		合計	231,137.00
		三井合名會社ヨリ借入金繰越	209,908.00
		十二年度不足金十三年度繰越見込額	86,663.00
總計	577,708.00	總計	577,708.00

昭和十二年度經費豫算決算對照表

科目	豫算額	決算額	比較	増減 △減
經常支出				
俸給及手当	64,300.00	63,515.32	△	784.68
雜員給料及當宿直居殘員辨當料	24,900.00	24,747.34	△	152.66
看護婦費	37,800.00	36,876.59	△	923.41
外國雜誌圖書費	5,700.00	4,199.92	△	1,500.08
備品費	14,300.00	13,211.66	△	1,088.34
帳簿及文具費	2,860.00	2,775.31	△	84.69
電燈・瓦斯・石炭・木炭・給水及消耗品費	26,450.00	25,678.67	△	771.33
通信運搬費	1,810.00	1,874.29		64.29
藥品・治療用材料及雜用品及雜費	35,300.00	35,487.25		187.25
入院患者賄及滋養品費	9,155.00	8,608.96	△	546.04
入院患者被服寢具並同補修費	3,750.00	3,546.14	△	203.86
葬祭料	1,700.00	1,085.00	△	615.00
診斷實驗費	5,800.00	5,803.20		3.20
營繕及修繕費	2,000.00	2,161.20		161.20
火災保險料	3,311.00	3,310.55	△	45
電燈・瓦斯・水道・蒸氣裝置費	1,900.00	1,410.18	△	489.82
諸稅及公費	3,600.00	3,715.26		115.26
諸雜費	2,500.00	2,050.17	△	449.83
豫備費	1,000.00	969.53	△	30.47
合計	248,136.00	241,026.54	△	7,109.46
產婆看護婦養成所費	15,400.00	14,902.11	△	497.89
合計	263,536.00	255,928.65	△	7,607.35
臨時支出				
退職慰勞金	5,000.00	8,998.67		3,998.67
銀行借入金利息	2,000.00	1,115.19	△	884.81
合計	7,000.00	10,113.86		3,113.86
總計	270,536.00	266,042.51	△	4,493.49

第六彙報

(一) 獎勵金受領

◎二月十一日 東京府ニ於テ左記ノ社會事業獎勵金傳達式並ニ交付式ヲ舉行セラル

泉橋慈善病院

今般事業御獎勵ノ思召ヲ以テ金壹封下賜候事

昭和十二年二月十一日

宮内省

泉橋慈善病院

社會事業ニ關シ從來盡力スル所尠カラス今後尙一層浮勵シテ其ノ效果ヲ收メムコトヲ望ム仍テ茲ニ獎勵金ヲ下付ス

昭和十二年二月十一日

内務大臣從四位勳三等 河原田 稼吉

右二口金額宮内省御下賜金參百圓内務省獎勵金四百圓ハ例ニヨリ慈惠資金勘定ニ繰入ル

之ト同時ニ贊助婦人會ハ東京府ヨリ助成金ヲ交付セラル (附錄第二參照)

(二) 記念式

◎四月七日 午後二時ヨリ本院ニ於テ左記ノ順序ニ依リ記念式ヲ行フ

一、君 か 代

二、院務ノ報告

三、評議員會長ノ挨拶

四、十年勤績者表彰

五、來賓祝辭

同

社會局長官(代讀)
東京府知事(同右)

來賓ハ内務省社會局長官代理内務省社會局技師西野隆夫氏、東京府知事代理東京府衛生課長草間弘司氏等ニシテ本財團ヨリハ評議員會長佐藤博士、評議員三井高遂氏理事金子堅次郎氏同佐々木四郎氏出席

又贊助婦人會ヨリハ常議員岡田德子氏、會員石渡こま氏出席

其他產婆看護婦養成所卒業生父兄保證人等列席セリ

十年勤績者左ノ如シ

事務長	野澤悌吾
書記	大島武次郎
技手	森部金吾
賄方	宗片常治

社會局長官ノ祝辭左ノ如シ

財團法人泉橋慈善病院茲ニ本日ヲトシテ、皇后陛下行啓記念ノ式典ヲ舉行セラル寔ニ慶賀ニ堪ヘサルナリ

惟フニ輓近醫術ノ進歩發達顯著ナルモノアリト雖モ貧困ノ爲メカ惠澤ニ浴シ得サル者亦尠シトセス救療事業ノ擴充ノ要正ニ緊切ナルモノアリ本院夙ニ鑑ミル所アリ明治三十九年創立以來専ラカヲ施藥救療ノ事ニ致シ實績年ト共ニ舉リ無料治療件數年二十餘萬ヲ算スルノ盛況ヲ致セルハ實ニ邦家ノ慶事ニシテ其功績亦甚大ナリト謂フヘシ今ヤ社會情勢愈々複雑多岐ニ互リ各種社會的疾疾病ヲ芟除調製シテ國民生活ノ安定ヲ圖ルハ刻下ノ急務ニシテ本院ノ使命亦一段ト其ノ重キヲ加ヘタルモノト謂フベシ

冀クハ關係諸氏深ク思フ此ニ致シ今後一層淬礪施設經營益々宜シキヲ制シ實績ヲ舉ゲテ其ノ效ヲ完ウシ以テ社會福祉ノ増進ニ寄與セラレムコトヲ一言囑望スル所ヲ述ベテ祝辭トス

昭和十二年四月七日

社會局長官 廣 瀬 久 忠

東京府知事ノ祝辭左ノ如シ

財團法人泉橋慈善病院茲ニ本日ヲトシテ 皇后陛下行啓記念ノ式典ヲ舉行セラル寔ニ慶賀ニ堪ヘズ惟フニ輓近醫學ノ進歩著シク療病ノ方術顯著ナル發達ヲ遂ゲタリト雖モ社會事象ノ複雑トナルニ從ヒ生活苦難一層深刻ノ度ヲ加ヘ之ガ惠澤ニ浴シ得ザル者益々増加ノ傾向ニ在リ救療事業一日モ忽諸ニ付シ難シト謂フベシ本院關係者夙ニ此ニ察スル所アリ明治三十九年本院ヲ創立シ爾來年ヲ閱スルコト三十有二其ノ間無告ノ窮民ヲ診療スルコト算無ク今ヤ博愛慈善ノ殿堂トシテ衆庶仰慕スル所トナレリ之レ偏ニ關係各位ノ献身的努力ノ賜ト謂フベク予ノ衷心感謝措ク能ハザル所ナリ庶幾クハ各位今後益々協心戮力以テ益々事業ノ發展ヲ期セラレ社會福祉ノ増進ニ寄與セラレンコトヲ聊カ所懐ヲ述ベテ祝辭トナス

昭和十二年四月七日

東京府知事 館 哲 二

(三) 見學及講習

○本年中醫師ノ見學生左ノ如シ (講習會ハ開催セス)

科目	資格別	見學人員		計
		開業試驗及第者	大學及專門學校出身 上記以外ノモノ	
内科		二	三	三
外科		二	一	三
眼科		九		九
耳鼻咽喉科		一		一
皮膚科泌尿器科		二		二
小兒科		七		七
産婦人科		二		二
放射線科		八		八
病理解剖科		一		一
合計		九	一五	二四

(四) 寄附、寄贈

○本年中本院ニ於テ寄附寄贈ヲ受ケタル慈惠資金其他左ノ如シ

月日	慈惠資金 円	看護員 慰安資金	物	品	氏名	宿	所
一月八日	商品券(十圓)				土岐育代氏		大森區久ヶ原町一五九
二月三日		一〇			石渡たま氏		澁谷區松濤鍋島侯爵邸内
三月九日	一、〇〇〇				武村貞次郎氏		麴町區五番町一三
四月七日			菓子(入院患者)		贊助婦人會		本院内
五月一日			菓子(一九〇個)		島蘭順雄氏		本郷區駒込千駄木町五〇
六月廿九日			昭和十一年度東京市立病院 療養所業績報告 一部		東京市役所殿		
七月十六日	五〇〇				島蘭順雄氏		本郷區駒込千駄木町五〇
七月十七日			出生、出生死産及乳幼児 死亡統計 壹部		恩賜財團愛育會殿		文部省内
七月廿二日			衛生試驗所彙報及沿革 史 壹部		内務省衛生試驗所殿		
八月十一日			救濟制度要義 壹部		井上會殿		東京府社會事業協會内
九月八日	一〇				矢部要三氏		本院外科醫員
九月二十七日			鐵井二(本院職員以下全員) 四六個ニ對シ慰勞		栗山重信氏		本院々長
十二月十日			醫學講習科講義錄 壹部		鐵門俱樂部殿		東大醫學部内
十二月廿七日			倉敷中央病院年報 壹部		倉敷中央病院殿		倉敷市

產婆看護婦養成所報告

第三十二 (昭和十二年)



(二) 卒業式

◎四月七日 午後二時本院記念式ニ次テ左ノ順序ニ依リ第十七回産婆講習科及第十七回看護法講習科卒業證書授與式ヲ舉行セリ

- 一、金剛石の歌
- 二、産婆看護婦養成所報告
- 三、卒業證書授與
- 四、賛助婦人會ノ記念品授與
- 五、無缺席者賞品授與
- 六、所長訓示
- 七、卒業生總代答辭 (大橋シン 杉本ウタ)

卒業生左ノ如シ (い、ろ、は順)

産婆講習科

- | | | | | |
|------|--------------------------|---------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 花塚俊子 | 大橋シン | 小納京子 | 大嶋賀代 | 高橋澄子 |
| 常田ギン | 村上ミサ <small>(無缺)</small> | 野木ツキイ <small>(同上)</small> | 古澤富美子 | 相生宮子 <small>(無缺)</small> |
| 秋元ひで | 佐山満子 | 鹽野シゲ | 森ハナ <small>(無缺)</small> | |

看護法講習科

- | | | | | |
|--------------------------|---------------------------|--------|--------|-------|
| 石田こと | 岩崎キクエ <small>(無缺)</small> | 伊菅むめ | 堀越きみ | 穂積ハル |
| 門田正 | 横井壽美 | 横山しず子 | 久留島フクエ | 山田マサエ |
| 新井千文 <small>(無缺)</small> | 佐藤イク <small>(同上)</small> | 佐久間かよこ | 櫻井秀 | 杉本ウタ |
| 鈴木千代 | 鈴關瑞枝 | | | |

(三) 入学式

◎四月十日 第十九回産婆講習生九名、第十九回看護法講習生二十二名ノ入学式ヲ舉行セリ

(四) 産婆及看護法講習生異動

昭和十一年十二月末現在	本年			昭和十一年十二月末現在	昭和十一年十二月末現在			合計
	入學	退學	卒業		産婆	看護法	合計	
			四	四	六	九	七	三三
			一	一	二	九	七	三三
			七	七	二	八	七	三三
			一	一	一	一	一	三
			四	四	一	八	三	一五
								一八

(五) 雜 件

- 一、夏季休暇中千葉縣富津ニ保養所ヲ設ケ志望者ヲ相互交代シテ保養セシメタリ
- 一、講習生中轉地保養ノ必要ヲ認メタルモノハ期間ヲ定メ保養セシメタリ
右保養費補助トシテ例年ノ通り贊助婦人會ヨリ金百五拾圓ヲ寄贈セラレタリ
- 一、二月廿六日看護婦規則施行細則第廿四條ニ依リ警視廳衛生課ヨリ出張看護法講習科第二學年生ニ對シ考查試験ヲ執行セラル

(六) 經 費

昭和十二年度經費ノ豫算並ニ決算及昭和十三年度豫算額ノ對比左ノ如シ

科 目	對 比	昭和十二年度豫算額	同 上 決 算 額	昭和十三年度豫算額
看護法講習生手當		四,九〇〇〇〇	四,四七〇〇〇	四,三二〇〇〇
同 賄 料		五,三〇〇〇〇	五,二四五〇	五,七〇〇〇〇
看護服新調費		三,五〇〇	三,四六五	四,〇〇〇
同上洗濯及補修費		五,〇〇〇	四,八〇〇	四,五〇〇
講習諸費		四,三〇〇〇	四,三三六	四,〇〇〇
合 計		一五,四〇〇〇〇	一四,九三二	一五,二二〇〇〇

泉橋慈善病院贊助婦人會報告 第十八 (昭和十二年)

泉橋慈善病院賛助婦人會規約

第一條 本會ハ財團法人泉橋慈善病院設立ノ趣旨ヲ翼賛シ其事業ヲ補助スルヲ目的トス

第二條 本會ヲ泉橋慈善病院賛助婦人會ト稱シ其事務所ヲ財團法人泉橋慈善病院内ニ置ク

第三條 第一條ノ目的ヲ達成スル婦人ヲ以テ會員トス

第四條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

會長 壹名
副會長 參名以内
幹事 五名以内

本會ヲ代表シ一切ノ會務ヲ總理シ常議員會ノ議長トナル
會長ヲ補ケ會長差支アル時ハ副會長ノ内壹名其職務ヲ代理ス

泉橋慈善病院評議員、理事、監事、病院長、副院長及各科部長ニ會長ヨリ囑託シ本會ニ於ケル重要ナル事件ノ協議ニ參與スルモノトス

泉橋慈善病院事務長ニ會長ヨリ囑託スルモノトス
主事ハ幹事ノ旨ヲ受ケ會務ヲ掌ル

書記 若干名
上長ノ命ヲ受ケ會務ニ従事ス

第五條 本會ニ常議員若干名ヲ置キ會員中ヨリ泉橋慈善病院評議員會長之ヲ囑託ス

第六條 會長及副會長ハ常議員ノ互選ニ依ル
幹事ハ常議員中ヨリ會長之ヲ囑託ス

第七條 會長、副會長、常議員及幹事ノ任期ハ二ケ年トス但シ重任ヲ妨ケス

第八條 本會ハ毎年四月總會ヲ開キ一年間ノ事業及會計ノ報告ヲナス

二月、九月、十一月ノ三回常會ヲ開キ左ノ事項ヲ舉行ス但シ會場ハ毎回泉橋慈善病院内トス

(イ) 病院當事者ヨリ病院ノ現況ヲ聴取シ兼テ入院患者ヲ慰問ス

(ロ) 講師ヲ聘シテ慈善救濟ニ關スル講話ヲ聽クコト

(ハ) 本會ノ目的ヲ遂行スルニ必要ナル方法ニ就テ協議スル事

第九條 常議員會及幹事會ハ必要ニ應ジテ會長之ヲ招集ス

第十條 會員ハ五ケ年ヲ一期トシ會費トシテ該期間毎年壹口金拾貳圓ヲ離出ス但シ一人ニテ數口ヲ離出スルコトヲ得

壹期ヲ終リタル時ハ更ニ其ノ口數ヲ定ムルモノトス

第十一條 會費ハ一年貳回之ヲ離出スルモノトス

第十二條 本會ハ特志家ヨリ金品ノ寄附ヲ受クルコトヲ得

第十三條 男子ニシテ本會ノ趣旨ヲ賛成スル者ハ之ヲ賛成員ト稱ス其會費ハ第十條ノ規定ニ依ル

第十四條 賛成員ハ本會ノ總會及常會ニ出席スルコトヲ得

附録 第二

賛助婦人會報告

(昭和十二年度)

(一) 役員 (昭和十二年十二月末日現在)

副會長 三井 銀子 (昭和十一年四月七日重任)

幹事 岡田 徳子 (同) 囑託重任

幹事 岡 芳子 (同) 上

常議員

岡田 徳子 (昭和十一年四月七日日本院評議員會長ヨリ囑託重任)

土肥多越子 (同上) 三井五十子 (同上)

團 芳子 (同上) 早川里子 (同上) 山田久子 (同上)

三井 銀子 (同上) 田代春子 (同上)

顧問

佐藤三吉 益田 孝男 爵三井 高公 岡田和一郎

入澤達吉 田代義徳 林 春雄 鹽田 廣重

木村德衛	長興又郎	男爵三井高精	三井高修
有賀長文	永井潜	三井高長	三井高遂
(專務)栗山重信	南條金雄	烏田勝之助	金子堅次郎
佐々木四郎	永島雄治	原勇三	市川篤二
相川武雄	今井良平	岩田正道	佐々木哲丸
吉田三郎	柳金太郎	主事野澤悌吾	會計主任小野彦治

(一) 役員ノ異動

- ◎四月八日 規約第四條ニヨリ永島雄治氏ニ顧問ヲ囑託ス
- ◎四月廿日 規約第四條ニヨリ三井高遂氏ニ顧問ヲ囑託ス
- ◎四月廿七日 專務顧問島蘭順次郎氏病氣加療中ノ處本日薨去セラル
- ◎八月五日 規約第四條ニヨリ栗山重信氏ニ專務顧問ヲ囑託ス
- ◎九月三十日 顧問鈴木遂氏辭任セラル

(三) 助成金受領

◎二月十一日 左ノ如ク東京府ヨリ助成金ヲ交付セラル

泉橋慈善病院賛助婦人會

從來本府社會事業ニ盡力スル處尠カラズ仍テ茲ニ助成金壹封ヲ交付ス今後一層斯業進展ノ爲淬勵セラレムコトヲ望ム

昭和十二年二月十一日

東京府知事從四位勳三等 館 哲 二

(四) 總會

◎四月七日 午後二時産婆看護婦養成所卒業式後左ノ順序ニ依リ總會ヲ行フ

專務顧問代理 岩田博士

一、事業報告

二、協議

三、講話 愛の極致

四、院歌

五、閉會

修養團理事 萬代重昌氏

來賓ハ本院記念式ニ同ジ

(五) 事業報告

- 一、今年度中入院妊産婦ノ退院者ヲ本會褥婦室ニ收容シ(收容定員七名)若干日靜養ノ上歸宅セシメタル實人員七百八十六名延人員二千三百二十名ナリ
- 二、小兒科ニテ推獎セル人工榮養患者ニ必要ナル滋養糖ヲ病人相談所ニテ發賣元ト特約シ定價ノ半額ヲ以テ希望者ニ供給セリ
- 三、本院看護婦及同講習生ノ保養所費中へ金百五拾圓也ヲ寄贈セリ
- 四、四月七日本院第十七回産婆講習科卒業生十四名第十七回看護法講習科卒業生十七名ニ記念品ヲ授與セリ
- 五、入院患者慰問ノタメ四月七日賛助婦人會總會當日菓子ヲ分配セリ
- 六、入院患者慰安ノタメ各病室へ新聞一種宛(計七種一ケ年間)ヲ寄贈セリ
- 七、本年一月ヨリ十二月末日マデニ病人相談所ニテ取扱ヒタル件數左ノ如シ

- 一、入院患者家計調査(八月ヨリ中止)四八二
- 一、治療法ニ就テ 一、二六四
- 一、肺病患者ノ處置ニ就テ 七一
- 一、身ノ上相談 一〇〇
- 一、入院希望ニ就テ 一、〇三〇
- 一、慈惠資金給與ノ世話ヲナセシモノ 一五
- 一、手紙ノ代筆ヲナセシモノ 一一
- 合計件數 二、九七四

(六) 會員、贊成員、入退並現在數

- 一、昭和十二年ニ於ケル入會者會員二十七名九十八口贊成員三名十三口退會者會員七名二十九口贊成員一名一口ニシテ十二月末日現在會員七十六名贊成員九名合計八十五名三百六十四口ナリ
- 一、本年中入退會者氏名左ノ如シ

入 會 者 (會 員)			
月 別	口 數	氏 名	月 別
二 月	五 口	福 島 朝 子 氏	同 月
同	五 口	萬 代 才 美 子 氏	同
同	二 口	清 水 慶 子 氏	同
同	二 口	渡 邊 玲 子 氏	同
同	二 口	阿 部 正 子 氏	同
同	二 口	大 塚 フ ジ 子 氏	同
同	二 口	根 尾 多 嘉 子 氏	同
同	二 口	佐 々 田 ト メ 子 氏	同
同	五 口	尾 形 シ ヅ 子 氏	同
同	二 口	住 井 豊 野 氏	同

前年度繰越 二〇、七六三二九

昭和十一年度豫算 出 二〇、七六三二九

昭和十一年度實支出 二五、三八一〇二

支出總額 二五、五四二二九

内譯

患者需用品費	五〇〇〇	入院患者慰問、看護婦夏季轉地保養費補助	三三七九五
慰安費	三五〇〇	產婆及看護法講習科卒業者ニ記念品	一、五七二〇〇
書記手當	一、五五〇〇	總會及例會諸費	八八〇〇
賞品	八〇〇〇		四六七〇〇
慰勞金	四七〇〇		二七七四
集會費	三五〇〇		六一〇〇
集會費	一五〇〇		九八〇〇
備品費	五〇〇〇		二九五二
帳簿及文具費	二五〇〇		

印刷費	一〇〇〇	名簿、年報、案内狀等	二四〇〇〇
通信費	一六〇〇	食料、需用品費、雜用品費等	一三六二六
褥婦室諸費	八〇〇〇		一、五二〇〇一
雜費	三五〇〇		三三六六
患者用洗濯婦給料補助金			五四九二〇
支出計	三、八五五〇〇	自昭和十年五月三日 至同十二年三月廿日分	五、一六〇三四
差引	二一、六八六二九		二〇、二二〇六八

東京府助成金

一金四百五十拾圓也

前年度繰越

一金壹百圓也

本年度助成金

合計金五百五十拾圓也

昭和十二年度 (自昭和十二年四月一日起至昭和十三年二月廿八日) 十一ヶ月分會計現況報告

收入

一金五千四百四拾四圓貳拾四錢

本年度收入總額

内 譯

金四千五百拾四圓也

金拾四圓五拾錢

金九百拾五圓七拾四錢

一金貳萬貳百貳拾圓六拾八錢

合計金貳萬五千六百六拾四圓九拾貳錢

支 出

一金四千四百參拾參圓拾八錢

内 譯

金六拾參圓八拾六錢

金貳百九拾貳圓貳拾五錢

金壹千四百四拾壹圓也

金九拾壹圓參拾錢

金四百九拾貳圓也

會 費 收 入

預 金 利 子

有 價 證 券 利 子

前 年 度 繰 越 殘

收 入 總 額

支 出 總 額

患 者 需 用 品 費

慰 安 費

書 記 手 當

慰 勞 金

金參拾參圓九拾八錢

金六拾壹圓也

金七圓拾五錢

金參拾八圓七拾錢

金九拾七圓參拾九錢

金五拾八圓貳拾參錢

金壹千四百貳拾壹圓七錢

金貳拾八圓五拾錢

金貳百八拾貳圓貳拾五錢

金貳拾四圓五拾錢

差引金貳萬壹千貳百參拾壹圓七拾四錢

東 京 府 助 成 金

一金五百五拾圓也

金壹百圓也

集 金 費

集 會 費

帳 簿 及 文 具 費

印 刷 費

通 信 費

雜 費

褥 婦 入 室 諸 費

備 品 費

洗 濯 婦 給 料 補 助 金

有 價 證 券 償 還 差 損 金

前 年 度 ヨリ 繰 越

本 年 度 助 成 金

146
178

合計金六百五拾圓也
二口合計金貳萬壹千八百八拾壹圓七拾四錢

現
在
額

14.6
178

終